

財団法人 広沢技術振興財団

研究課題・セミナー・調査課題名

無人（小型）ヘリコプタによる3次元画像情報収集システム

《申請者》

フリガナ	カブシキカイシャ アプライド ビジョン システムズ
所属機関・団体	株式会社 アプライド・ビジョン・システムズ
職位・氏名	代表取締役 高橋 裕信

《研究・セミナー・調査の概要》

2011年3月11日に発生した東日本大震災の地震規模はマグネチュード9.0で観測史上最大の地震であった。地震や大津波により福島第一原発のメルトダウンが発生し、放射能汚染、地盤沈下、家屋の破壊等の大災害となった。今回の震災により、災害発生時の状況把握や地域住民を始めとする県、国等の関係機関へのタイムリーな情報発信の重要性が改めて認識された。

- ・このような中で人が近づけない災害現場や危険地域等の状況調査を、無人（小型）ヘリコプタを使用し空中から撮影したカメラ映像から災害状況全体の把握が可能な、3次元画像情報収集システムを研究することとした。

- ・本システムは、操作が簡単な無人ヘリコプタにステレオカメラ、GPS他のセンサを搭載し、撮影画像から災害地域全体を3次元的に復元することにある。これにより、災害地域の面積、崖崩れ等による土砂体積、決壊対象物の寸法等の計測が可能となり、早急な災害復旧作業の一助とするものである。